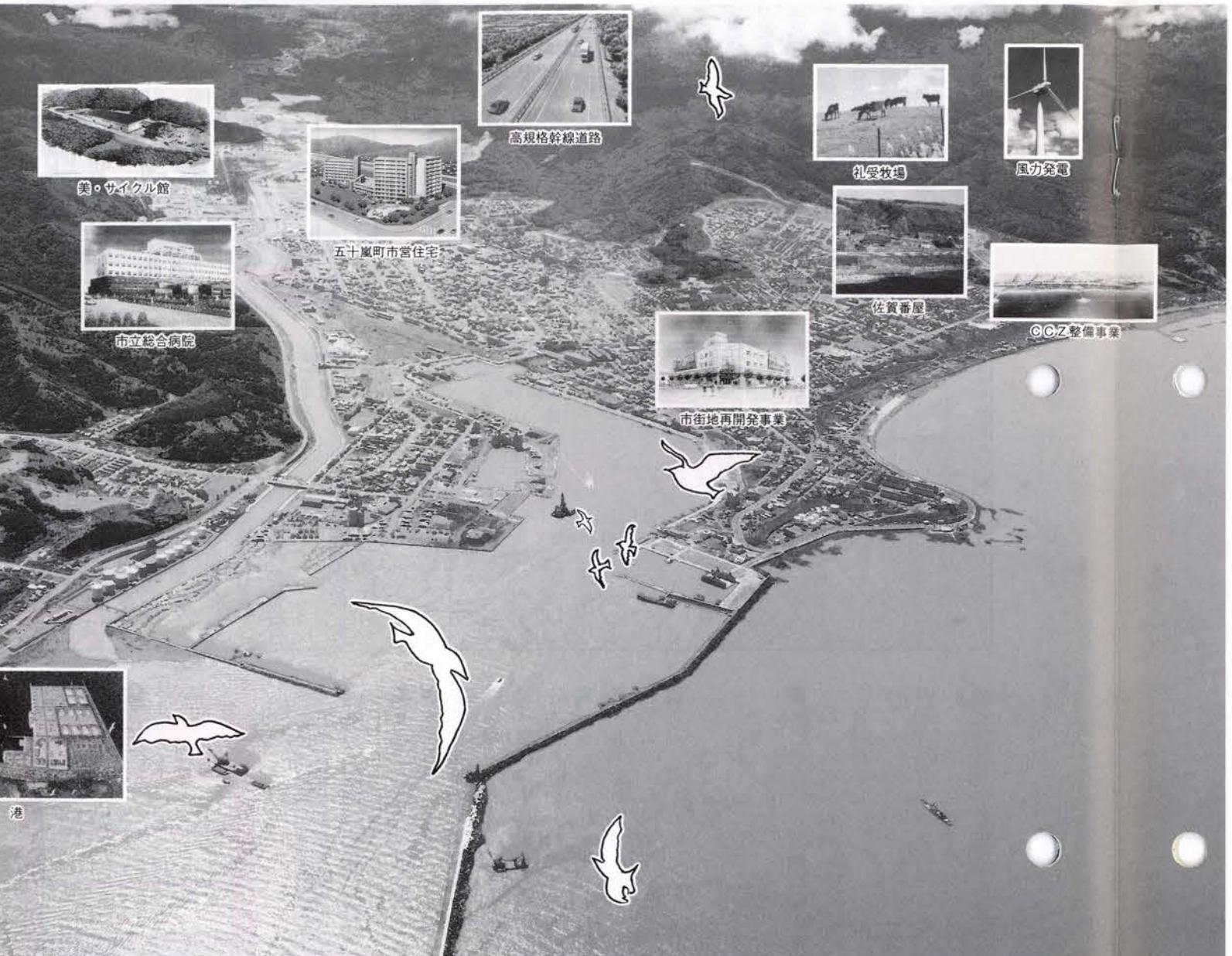




発展 expansion



留萌市の将来像をイメージしていただくため、予想図などでご紹介しています。写真の位置と予想図の位置は特に関係ありません。

Live happily together

■ 世界と日本、市民をつなぐ
国際交流・地域間交流
多種多様化する時代の変化を的確に受け止め、市民が前進する行動計画「飛翔都市」を促進します。

■ 本格的な国際化に向けて、市民レベルでの交流活動を支援していくとともに、姉妹都市とのより多面的な交流事業を積極的に進めなければなりません。

21世紀へ向けた新しいまちづくり計画は、効率的な行政の運営はもちろん、事業の必要性やその効果について十分検討し、緊急性や優先順位を見極めた上で多面的な交流事業を積極的に進めなければなりません。

■ 新しくなる市立総合病院は留萌管内の地域センター病院としてふさわしい体制づくりを目指します。また、道立高等看護学校の早期設置をすすめるとともに、高齢者や障害者にやさしい「すこやか支援センター」、訪問看護ステーションの充実を図り、西暦2000年からはじまる介護保険制度の実施に備えた支援体制と希望と生きがいのもてる高齢者福祉づくりを目指します。



21th 市民参加のまちづくり

明日に向う都市づくり

■ 長距離フェリーが結ぶ物流ネットワークは、「人」と「物」の

交流拠点都市づくりを可能にし、海外との貿易や船舶の大型化による経済効果が見込まれます。

留萌港と本州を結ぶ長距離フェリー就航早期実現と高規格幹線道路深川・留萌間の早期完成など、道路交通網の整備を促進するとともに、市民の憩いの場として親しまれる港づくりをすすめます。

国際貿易港に指定されて以来、平成8年2月には3,000隻を突破する実績があり、港の活用にはいろんなチャンスがあります。

例えば、旭川市を中心とした道北の経済圏では、フェリー就航に大きな期待を寄せていましたし、それが結ぶ本州の各港からの期待も高まっています。

■ フェリー就航は重要港湾の持つ特性を活かすための、一つの手段に過ぎませんが、先人たちが築き上げてきた留萌の港をより効果的に活用することが望まれています。

■ 賑わいあふれる商店街の振興を図るため、十字街地区、開運町地域の市街地再開発事業をはじめ、中心街の魅力アップを図るための近代化への商店街づくりを目指します。

■ 基幹産業である水産加工業の振興はもちろん、留萌経済の基盤である農業生産の創造と経営の安定を図るとともに、つくり育てる

各界の企業は投資する港、さらには効率が最も良い港を探しています。そのため、留萌港の整備促進を図ると同時に、重要港湾の特性をあらゆる産業界へどこよりも早く発信することが求められています。

■ フェリー就航は重要港湾の持つ特性を活かすための、一つの手段に過ぎませんが、先人たちが築き上げてきた留萌の港をより効果的に活用することが望まれています。

■ 賑わいあふれる商店街の振興を図るため、十字街地区、開運町地域の市街地再開発事業をはじめ、中心街の魅力アップを図るための近代化への商店街づくりを目指します。

■ ノーマライゼーションの理念を基本に、障害者福祉の向上や、児童から大人までの教育や実戦活動を通じた助け合いの心を育てるとともに、ボランティアへ参加しやすいうシステムづくりが望まれています。また、21世紀を担う子供たちのために、エンゼルプラン計画の策定や子育ての支援を行うとともに、教育施設の充実と家庭と学校、そして地域社会との連携を図ります。

新たな地域文化の創造 留萌の歴史、千石場所ふたた

■ 漁業を推進するために、ニシン、ヒラメ、ウニ、ソイ、アワビなどの種苗生産や中間育成、放流事業を行います。また、地球環境を守るために、緑や森を大切にした林業の振興や花いっぱい運動をすすめます。

■ 佐賀家漁場等の復元整備や阿部版画館を含む文化ゾーン構想など、貴重な文化財の保護やその活用方法を検討するとともに、市民の創作、発表活動の機会や活動の場の拡充が求められています。

■ 現在は、親しみと安らぎと、憩いあふれた海岸空間づくりのた

め、海をテーマにしたC・C・Z整備計画を推進するとともに、平成8年に策定した「景観ガイドプラン」に基づいた景観づくりや豊かな自然や風土、歴史と調和した都市づくりを目指します。さらに、潮風香るコミュニケーションパークとして、礼受牧場の整備や留萌の新しいシンボルにもなった風車の利用した風力発電事業の拡大を目指します。

Zing 9

ひと・まち・ゆめ・みなど

はばた
翔く留萌21

RUMOI CITY
第4次総合計画



Norihiko Naganuma
市長 長沼憲彦

21世紀・留萌の発展のために

市民が前進する **6「飛翔都市」** 市民行動計画

留萌次第4次総合計画の6つの計画を現状に照らし合わせてご紹介して参りました。

今月で最終号となる計画「飛翔都市づくり」について考えてみましょう。

留萌市のすばらしい豊かな自然環境と歴史や文化を守り、育て、多様な交流活動を通じて21世紀に向けた新しい地域文化を創造し、地域に対する誇りと愛着を育める都市づくりをすすめます。

市民憲章
1. 海の資源や山の緑を大切にして美しい市にしよう。

1. 人に迷惑をかけず公共の物を大切にして清潔な市にしよう。

1. きまりを守り、みんなでたうけ合う秩序ある市にしよう。

1. 働くことによろこびをもつて、仕事に精を出し豊かな市にしよう。

1. 丈夫なからだとあかるい心をもち、平和な市にしよう。

ひと・まち・ゆめ・みなど
翔く留萌21

Zing 8